

杉並区公式LINE「ごみ・資源」のメニューに新たな機能が加わりました



杉並区公式LINEの「ごみ・資源」のメニューからは、ごみの出し方や粗大ごみの手数料確認、粗大ごみの申込を行える「粗大ごみチャットボット」が使用できます。「粗大ごみ申込サイト(インターネット版)」など、新たな機能を追加しました。

杉並区公式LINEは
こちらから!



問 杉並清掃事務所・方南支所

衣類の拠点回収

古着として着用できる、破れや汚れのない、きれいな衣類をお出しく下さい。

毎月第2土曜日 午前10時～正午(時間厳守)、雨天中止

湿気によりカビが発生すると適切にリユース・リサイクルできないため、雨天中止にご理解ください。

当日実施の確認は、午前9時以降に、NPO法人すぎなみ環境ネットワークへ。(☎03-5941-8701)

【回収拠点】区役所中杉通り側、宮前図書館、方南会館、リサイクルひろば高井戸、コミュニティふらっと本天沼(※) 各地域区民センター〔井草、永福和泉、荻窪(※)、高円寺(センオン杉並)、西荻〕

※コミュニティふらっと本天沼(旧日本天沼区民集会所)は令和6年10月に開設予定です。

※荻窪地域区民センターは、令和6年11月から令和8年6月末まで休館予定です。

問 ごみ減量対策課・事業計画係

中身のみえる、
透明な袋に
入れて出してください



台風などの荒天時におけるごみ・資源の収集

台風などの荒天時であっても、ごみ・資源の収集は原則行います。ただし、収集時間が通常よりも大幅に乱れることがありますので、あらかじめご了承ください。

やむを得ず収集を休止する場合は、区ホームページやスマートフォン用アプリ「なみすけのごみ出し達人(マスター)」等でお知らせします。なお、ごみ・資源が飛散するなど、安全にごみ・資源を出せない場合は、なるべく次回の収集日にお出しく下さい。



ご協力のほど、
よろしく
お願いします!



問 杉並清掃事務所・方南支所

☆この「清掃情報紙ごみパッケン」を読み終わって処分する時は、古紙(雑がみ)としてお出しく下さい。



ごみ減量で地球を守ろう!

東京港内の新海面処分場は、23区最後の埋立処分場です。長く使うためにも、地球の温暖化を防ぐためにも、一人ひとりができることから始めてみませんか。

今号の
主な記事
・埋立できる量には限りがある?
・プラスチックを知ろう! Vol.8

発行日 令和6年9月5日
編集・発行 杉並区環境部ごみ減量対策課・
杉並清掃事務所・方南支所

年4回(6・9・12・3月)各5日発行



出典元 東京都環境局

【問い合わせ先】 ●ごみ減量対策課・環境課 阿佐谷南1-15-1(杉並区役所) 電話03-3312-2111(代表) →次頁へ

埋立できる量には限りがある？

区が回収したごみは、燃やして灰にしたり、小さく砕いてから、東京港にある埋立処分場に運び、最終処分をしています。

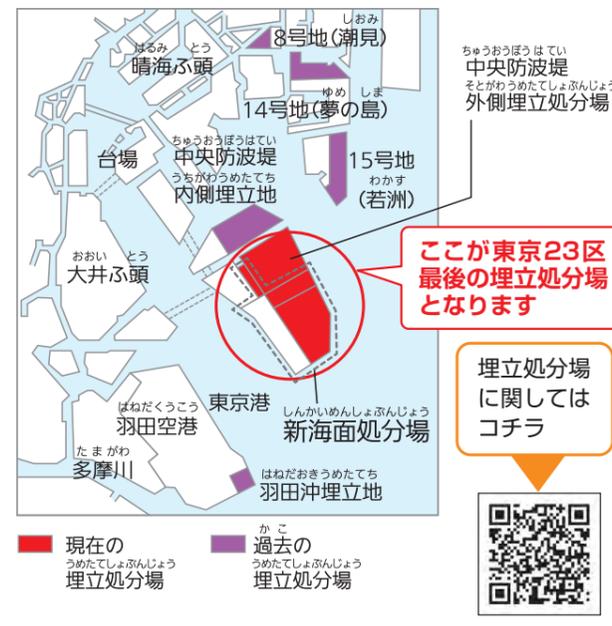
しかし、埋立てできる量には限りがあるうえ、船の航路を確保するため、東京港にはもう新しく埋立処分場をつくることができません。

ごみの排出を抑え、資源を有効に活用していくことで、この処分場をより長く使うことが可能になります。

私たちの力で、埋立処分場の寿命を延ばし、未来につなげていきましょう！



新海面処分場



ここが東京23区最後の埋立処分場となります

埋立処分場に関してはコチラ



埋立処分場の見学は、以下へお申し込み・お問い合わせください。

お申し込み・お問い合わせ先

(公財) 東京都環境公社 (☎03-3570-2230)

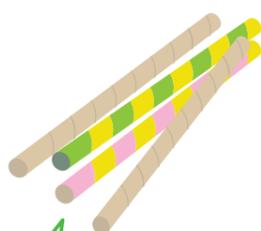
問 ごみ減量対策課・管理係

プラスチックを知ろう! Vol.8 ~使い捨てプラスチック削減の取組~

海洋プラスチックごみ問題や気候変動問題といった課題に対応すべく、使い捨てプラスチック削減に向けた取り組みが、今、世界中で推進されています。

日本でも2019年に政府は「プラスチック資源循環戦略」を策定。2030年までに使い捨てプラスチックを25%排出抑制することを目標としています。

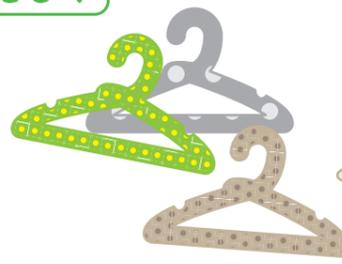
プラスチック製品から紙製品などに変わったもの



ストロー



菓子袋



ハンガー



弁当容器

紙や竹、草など自然の素材を使用しているものや、繰り返し使えるガラス、シリコン、ステンレス製の持ち運びできるものなど、環境にやさしい製品が増えてます。



いろいろな品物が紙製品や再利用できる素材に変わっているんだね! でも、品物を買う前に「本当に必要な?」と一度よく考えてから購入すると、ごみの削減につながるね!!

問 ごみ減量対策課・事業計画係

「mottECO(モッテコ) 普及推進モデル事業」実施します!

区では、昨年度ご好評いただいた「mottECO 普及推進モデル事業」を、今年度も10月(食品ロス削減月間)から12月末まで実施します。

この事業は、飲食店等における食品ロスを削減するため、事業者と区が協力して食べ残し持ち帰りの普及・定着を図る事業です。



「mottECO(モッテコ)」とは?

環境省が提唱する、飲食店で食べきれなかった料理を利用者の自己責任で持ち帰る行為の愛称です。「mottECO」の名前には「もっとエコ」「持って帰ろう」というメッセージが込められています。



モデル事業協力店とは?

区と共に食べ残しの持ち帰りを普及し、定着に向けて取り組んでいただく店舗です。

「食べのこし0(ゼロ)応援店」と「mottECO」のポスター、ステッカーが目印です。



残った料理を持ち帰りたい場合は?

店舗の方から専用容器を受け取り、ご自身で料理を詰めてください。持ち帰る行為は「利用者の自己責任」となりますので、ご自身でしっかり管理しましょう。



専用容器

食品ロスの削減が求められている今「食べ残したものは自分の責任で持って帰り、ごみにしない文化」を、区から広めたいと考えています。まずは身近な店舗で「mottECO」をぜひ、実践してみてください。



出典元 日本ホテル(株)

「mottECO FESTA 2024」開催しました!!

区が参加している mottECO 普及コンソーシアム2024(※) 主催の、食品ロス削減を中心に、SDGs、資源循環等、環境にかかわる啓発発信イベントを、7月29日(月)に開催しました。

※外食事業8社、ホテル事業8社、中食事業1社、2つの自治体、2つの大学、合わせて21団体からなる、食品ロス削減推進を目的とした産官学連携アライアンス

区ではブースを出展し、食べ残りレシピや食品ロス削減に関する啓発絵本等を配布しました。また、パネルディスカッションや講演会、もったいないメニューの試食コーナーも大盛況でした。



問 ごみ減量対策課・管理係